山村塾は都市と農山村の住民が一緒になり環境にやさしい米づくりや
豊かな生態系の森づくりを通じて山村の環境を守るグループです

2022年7月号

こめづくり もりづくり ひとづくり

# 山村塾通信

## 「平成 24 年九州北部豪雨から 10 年」

2012 年 7 月 14 日の九州北部豪雨から 10 年。八女市黒木町の観測所では 24 時間で 486.0mm という観測史上 1 位の雨量を記録し、山村塾が活動する八女市黒木町笠原地区は、河川の氾濫や山崩れなどの土砂災害が発生し、家屋や道路、水路、農地等に甚大な被害が発生しました。このころはまだ線状降水帯という言葉は聞かれませんでしたが、まさにその状態だったと考えられます。

当時、えがおの森には、うめちゃん、クリスティ、ロマンの 3 名（NPO 法人 NICE からのボランティア）と森真理子さん（当時の山村塾スタッフ）が滞在していて、ボランティア合宿拠点が臨時の避難所になりました。みんな避難所お手伝いから災害復旧作業と、よく頑張ってくれました。

そして、これまで行ってきた山村塾での棚田や山林でのボランティア・交流活動が、家屋や水路、農地の土砂出し作業、避難所運営を行うことに大きな力になってくれました。災害発生後、2 年間で 150 日間の活動が行われ、延べ 3,500 名の方々がボランティアとして参加されました。また、活動資金を募った笠原復興基金には 2 年間で 345 件 9,014,383 円の寄付が集まりました。山間部である笠原地区において、こんなにも充実した支援活動を行うことができたのは、山村塾や笠原地区に関係する方々がいち早く行動してくれ、そのことが呼び水となり、多くの方々に足を運んでもらったからだと思います。人と人のつながりに見返りを求めるのは世知辛いことですが、いろいろな人とつながり、普段からお願いする・される関係を沢山持っていることは、自分のためだけではなく、どこかで誰かが困ったときに役に立つような気がしています。

田植えで賑わう棚田（6/11・12）

10 年前に比べると、管理が困難となった棚田や茶畑も増えてはきましたが、それでも今年もお茶摘みが終わり、田植えも終わり、いつもの笠原の風景を眺めることができています。笠原の風景を支えてきた農家の方々と、そこに関わって来られた皆さんに感謝申し上げます。

今年は「笠原まつり」も 3 年ぶりに復活する方向で話が進んでいるようです。また多くの方々と笠原でお会いできることを楽しみにしています。今後とも山村塾＆笠原をどうぞよろしくお願いします！　（小森 耕太）

---

【備考】・えがおの森の臨時避難所：2012/7/14 ～ 8/28、多い日は 150 人近くが身を寄せ、仮設住宅が整うまで数世帯が利用。笠原内の他地区では公民館などが避難所となった。

・7.14 笠原写真記録集（※特設サイト http://yumekasahara.jp/ ）：災害翌年の 2013 年、笠原を応援してくれた方々に感謝の気持ちを伝えるとともに、7 月 14 日の豪雨災害について後世に語り継ぎ、自然豊かな笠原の風景が続いていくこと願って写真記録集が制作された。

※特設サイト

# 稲作コースより

今年度の稲作コースは、新行事「棚田の石垣草取り」からスタートしました。遠くから見てもわかるほど、棚田の一部の石垣がとてもきれいになりました！

「種まき」、「田植え」、「鴨進水式」は、3年ぶりに通常どおりの形で行うことができました。田植えは土日2回に分けて、あわせて100名の参加があり、久しぶりの泥合戦も盛り上がって、賑やかな歓声が棚田に響きました。

田植えの日、アイガモのヒナがふ化する瞬間を見ることができました。内側から殻を割って、一生懸命外に出ていこうとする姿に感動します。アイガモたちは田植えのあとに田んぼに入り、8月末まで約2か月間田んぼの中で活動します。

今年は、田んぼの草取り・草刈りの行事を複数回予定しています。おいしいお米をつくるため、棚田の美しい風景を守るためにとても大事な活動です。みなさんのご参加お待ちしております！

（原 愛子）

| 日付 | 行事名 | 会員 | 一般 | WC | スタッフ | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 4/24 | 棚田の石垣草取り | 8 | 0 | 0 | 6 | 14 |
| 5/8 | 稲の種まき | 33 | 0 | 1 | 8 | 42 |
| 6/11 | 田植え① | 36 | 11 | 1 | 8 | 56 |
| 6/12 | 田植え② | 50 | 1 | 1 | 7 | 59 |
| 6/19 | 鴨進水式 | 31 | 0 | 1 | 8 | 40 |
| 7/10 | 田の草取りと草刈り① | 24 | 2 | 1 | 8 | 35 |

アイガモたち田んぼデビュー（6/19 鴨進水式）

## 農家の声

稲作コースの誠です。

本日7月14日、田植えがやっと終わりました。種まき、草刈り、畦塗り、中耕と5月からいろいろ忙しくしてきましたが、ようやくここまできました。毎年6月は本当にあっという間で、気が付けばもう7月ですね。1週間ほどゆっくり休みたい気分ですが、うちの倉庫の育雛ハウスではカモのヒナたちがしっかりスタンバイしていますので、早いところ田んぼへ放すための準備をしなければ。なかなか一息ってわけにはいきませんね。

兄から育雛ハウスを空けてほしいと依頼がありました。そろそろブロッコリーの作付けのための苗づくりが始まるようです。兄の方でいうと、毎日早朝からキュウリの収穫、袋詰めで忙しくしているようです。今、うちの大きい冷蔵庫には、お米は年中ですが、きゅうり、じゃがいも、玉ねぎでいっぱいです。当分は食べるものに困らなそうですね。

夏もこれからが本番、暑さと比例して作物もどんどん生長していきます。人間にはきついですが、雑草と暑さに負けんように、今後もがんばります。気が向いたら、田んぼのカモにも会いにきてくださいね。

**稲作コース**
**椿原 誠**

# 山林コースより

「下草刈り」は、植林した苗木のために、まわりの草やツルを刈る夏の山仕事です。山村塾では、”根ざれ鎌”という大鎌を使って手刈りします。草刈機に比べるとスピードは落ちますが、初めての人にも使いやすく、自分のペースでザクザクと草を刈り進めていく感触が楽しいです。

7/3 の活動では、約 1 反のクヌギ林と、遊歩道の草刈りを終えることができました。標高 700 mにある「ケヤキ林」では、真夏でも風が涼しくて、鳥や虫の声に癒されながらの活動となりました。東屋の下で食べる佐津美さん特製の山の幸弁当も格別です。ケヤキ林では、秋に森の手入れなどを検討しています。林内の散策なども楽しめたらと思います。

また､今年は 3 年ぶりに「お茶つみミニワーク」を行いました。 3 月に完成したばかりの " 釜 " を使って、昔ながらの " 釜炒り茶 " づくりに挑戦しました。在来茶園で手摘みした茶葉を、釜で炒って、ござの上でひたすら揉んでと、根気のいる作業が続きます｡大変でしたが､炒り方がうまくいって、風味豊かでおいしいお茶ができました。

今では機械化されているお茶づくりですが、こうして昔ながらの技や風景を、みんなで体験し味わうことができ、お茶の味もひときわおいしく感じました。(原 愛子)

| 日付 | 行事名 | 会員 | 一般 | WC | スタッフ | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 5/3 | お茶つみ | 21 | 8 | 1 | 10 | 40 |
| 7/3 | 下草刈り① | 7 | 1 | 0 | 3 | 11 |
| 7/24 | 下草刈り② | 5 | 2 | 1 | 3 | 11 |

クヌギ林の草刈り、さっぱり！（7/3 下草刈り）

新しい釜で釜炒り茶づくり（5/3 お茶つみ）

皆さんお元気ですか？

毎日暑い日が続いています。今年のお茶摘みも 7/1 に終わり、来年に向けてお茶の剪定をしています。

7/3 と 7/24 の山林コースの下草刈りに参加いただいた皆様、お疲れ様でした。今回は、クヌギ林とスギ林の下草刈りをしました。草丈が高かったので大変でしたが、お陰様できれいになりました。

ケヤキ林では、150 年施業を目指して、ケヤキを植えてから 30 年近く経ちました。あと 120 年、森の手入れをどうにか継いでいけたらと思います。

山林コースの会員さんには、山の幸をお届けしています。感想などぜひ聞かせてください。

ケヤキ林にて

**山林コース**
**宮園 福夫**

# 山村塾＊活動レポート

## 日帰りボランティア

今年度も、国際ボランティアの募集が難しく、日帰りボランティアを実施しています。4 月～7 月 13 日の期間に、計 10 回実施し、延べ 38 名の方々に参加いただきました。田んぼの管理、ラッキョウの収穫・植え付け、梅の収穫など順調に進みました。ご参加ありがとうございました。

8 月以降も、毎月第 2・第 4 水曜日に活動予定です。ご参加お待ちしております！

**【作業内容】**棚田の草刈り、田んぼ仕事（田植え・草取り）、らっきょう仕事、畑仕事、梅収穫、竹皮集め、ヤギ牧場の電気柵設置など

田んぼの草取り、夢中になります！（7/13）

## 笠原棚田牧場より

1 月に電気柵を張り、拡張した笠原棚田牧場。さらに拡張して 2 区画目を作り、面積が当初の 4 倍近くになりました。それと時を同じくして、笠原のヤギ仲間さんからヤギを預かることになり、ヤギもなんと 2 倍に増えました。

現在 7 頭のヤギが、棚田の中でのびのびと走り回り、草を食んでいて、ますます牧場らしい光景が広がっています。草の勢いが増すこの時期も、草丈が短く押さえられており、特に石垣の草をきれいに食べてくれるのがとても心強いです！

笠原棚田牧場マップ

## ＼みんなで踊ろう！／ 八女茶山おどり

民謡魂に出演した茶山おどりチーム（5/29 収録）

八女に伝わる民謡「八女茶山唄」にあわせて創作された「八女茶山おどり」。2019 年から、みんなで踊ろう！と活動をしていますが、ついに全国放送の TV 出演を果たしました。（7/3 放送）

NHK の民謡番組「民謡魂 ふるさとの唄」の公開収録が八女で行われるにあたり、「八女茶山唄」の歌い手である馬場美雅さんとともに、八女茶山おどりチームも出演することになったのです。

当日は、おどりを創作した武田力さん、笠原のお茶農家・松尾章三郎さん、九州大学の学生さんと、山村塾メンバー（真里さん、綾さん、亀さん、原）が踊り手として参加しました。（私は茶娘衣装を着せてもらいました！）この日初めて踊るメンバーもいましたが、「間違っても大丈夫、楽しく踊ろう！」という武田さんの言葉もあり、のびのびとステージ上で踊ることができました。沢山のスタッフ、分刻みのスケジュールなど、テレビ収録の裏側に驚きながら、学園祭のような雰囲気で、ハレの 1 日を楽しみました。

八女茶発祥 600 年を迎える来年にむけて、八女茶山おどりをますます広げていきたいと計画中です。秋以降、体験会や発表会を予定していますので、ぜひみなさんも一緒に踊りましょう！

（原 愛子）

民謡魂
番組 HP

### その他の活動報告

| 日付 | 活動内容 | 会員 | 一般 | WC | スタッフ | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 4/10 | 全体行事 顔見せ会 | 43 | 1 | 0 | 13 | 57 |
| 5/21-22 | 里山ミニワーク<br>棚田の草刈り | 8 | 2 | 1 | 4 | 15 |
| 5/29 | 八女茶山踊り体験会 | 0 | 10 | 1 | 14 | 25 |
| 6/19 | 民謡魂をみんなで観よう | 0 | 15 | 1 | 10 | 26 |

# スリランカ便り

冨吉 満之

山村塾会員・冨吉さんによる、
スリランカからのレポート連載（全３回）です！

## 1. 食生活編

みなさん、こんにちは。稲作コースに 2020 年から家族で参加している冨吉と申します。今年度は仕事でスリランカに来ているため、３回に分けて現地の食や農業のことをお伝えします！

スリランカはインドの南東部にある島国で、面積は北海道より少し小さいくらい。そこに 2,200 万人が暮らしています。紅茶（セイロンティー）が有名です。2020 年からの新型コロナ以降、基幹産業の観光が大きな打撃を受け、経済危機がおこっています。外貨が不足して石油が買えなくなったり、農薬や化学肥料も輸入できないという事態が生じています。

そんな大変な状況のスリランカですが、普段の食生活はどうなっているのでしょうか。彼らにとっての食事は「1 日 3 食カレー」が基本のようです。「ライス＆カレー」と呼ばれています。これは、大きな平皿の真ん中にご飯を盛り、まわりにダル（豆）カレー、野菜のいためたもの、つけあわせ、せんべい風のものなどが並びます（写真 1）。いろんな料理を総称して「カレー」と呼んでる感じです。（※現在では経済危機でお米や様々なものの物価が上がっており、3 食食べられない人たちもいるようです。お米 1kg ＝ 200 スリランカルピー≒ 80 円）

写真１　ライス＆カレー

写真２ スリランカの市場

なお、ご飯はパラっとしてます。また、お米の麺もよく食べられています。食事は基本的に「手で」食べます。私も「郷に入っては」ということで、手でご飯やカレーを混ぜて食べていますが、これが実に美味しいです。日本では子供に「手では食べなさんな！」と言ってましたが、それはうちの子達には内緒です。

料理は、辛いものが多いです。唐辛子やスパイスの辛さで食べづらい料理もあるので、お腹のことを考えて、辛すぎるものは控えています。一方でココナツやココナツミルクを使った料理も多く、甘いもの、甘い料理もたくさんあります。あと、食材についていえば果物、フルーツが豊富ですね。バナナも色んな種類がありますし、マンゴー（こぶし大で 1 個 100 スリランカルピー＝約 40 円）とかランブータンが安くてうまい！

私にはスリランカの食事は肌にあうのか、それほど「日本食が恋しい！」という状態にはなってません。パン屋さんも普通にありますし、昔からの食生活と海外からの食文化が融合して、豊かで楽しい食生活がそこにはありました。

次回は、農村について紹介します。

とみよし・みつゆき
久留米大学経済学部 准教授

山村塾の Facebook、Instagram にて
活動レポート発信中です！

**編集後記**

夏の草はすごいです。切ってもすぐにぐんぐんと伸びてくる草のエネルギーは、憎たらしさを超えてちょっと羨ましいです。ヤギが身近にいると、『草＝ヤギの大事なごはん』と見方も変わってきます。草刈りしたあとの適度な疲労感と、さっぱりした風景も好きです。ひきつづき、草取り＆草刈りがんばります！（原 愛子）

# 事務局より

## 会員募集中！

**■ NPO 会員：**山村塾の趣旨に賛同し、会員として私たちの活動を継続的に応援してくださる NPO 会員を募集しています。総会での議決権を持つ「正会員」と、議決権を持たない「賛助会員」があります。

**■活動コース会員：**いっしょに田んぼや山で働く活動コース会員（稲作・山林、稲作、稲作 30kg、山林、古里）をいつでも募集しています。

## ご寄附のお願い

山村塾の活動は、皆様からのご寄附で支えられています。山村の暮らしに学び、山村の環境を守る取り組みに、ぜひご協力をお願いいたします。

**【山村塾は「認定 NPO 法人」です】**

・山村塾へのご寄附は、確定申告をすることで寄付金控除の対象となります。

・認定 NPO 法人の要件として、毎年 100 名以上の方からの寄附（3,000 円以上）を目標としています。

### ▶ご寄附の方法

**■郵便振込口座から**

加入者名：特定非営利活動法人山村塾

口座番号：０１７９０－３－１６９３９８

**■銀行から**

・銀行名：ゆうちょ銀行　店名：一七九（店番：１７９）

口座：当座　０１６９３９８

・銀行名：福岡銀行　黒木支店

口座：普通　１０８５３９８

特定非営利活動法人山村塾 理事長 小森耕太

※銀行からお振込みされた方は、お名前とご住所またはメールアドレスをお知らせ下さい。

**■農産物を買う**

会員の方が、椿原家と宮園家の農産物・林産物を購入されると、その一割がヤマヤマ基金へ入ります。

**■古本で寄付ができます！**

古本や DVD を「きしゃぽん」にお送りいただくと、買取金額が山村塾への寄付となります。ぜひご協力をお願いします。（古本集荷依頼 TEL：0120-29-7000、山村塾に寄附したい旨をお伝えください。）

## 会員状況（2022 年 6 月時点）

**▶ NPO 会員**

【正会員】　個人：38 名、団体：4 団体

【賛助会員】　個人：70 名、団体：2 団体

**▶ 2022 年度活動コース会員**

稲作・山林：7 名、稲作 20 名、稲作 30kg：18 名、山林：13 名、古里：6 名

**▶笠原棚田米サポーター**

86 名（個人 82 名、企業・団体 4 名）

## 寄附者（2022 年 3 月～ 6 月）

**▶個人からのご寄附：**

2022 年 3 月 16 日から 6 月 30 日までに、30 件 783,321 円のご寄付を頂きました。ありがとうございました。

**▶企業・団体からのご寄附**

・古本募金きしゃぽん様を通じてご寄附をいただきました。（3/18：1,920 円）

・KDDI 株式会社九州総支社様から社員参加型の社会貢献活動「+ α プロジェクト」を通じて、388,750 円のご寄付をいただくことが決定しました。棚田や森林の保全に役立たせていただきます。

## 山村塾 今後の予定

| 日程 | 行事名 |
|---|---|
| 8/7（日） | 稲作コース「田の草取り・草刈り②」 |
| 8/21（日） | 稲作コース「鴨の引き上げ」 |
| 8/27（土）～ 28（日） | 里山ミニワーク「棚田の草刈り」 |
| 9/4（日） | 稲作コース「田の草取り・草刈り③」 |
| 9/23（金・祝） | 唄って踊って味わう八女茶山 |
| 10/8（土）・9（日） | 稲作コース「稲刈り①・②」 |
| 10/16（日） | 山林コース「枝打ち」 |
| 10/29（土）・30（日） | 全体行事「鴨さばき①・②」 |
| 11/13（日） | 全体行事「収穫祭」 |

▶行事および里山ミニワークの開催については、状況に応じて随時判断します。最新情報はホームページ、メールニュースにてご案内します。

※ FAX や郵送でのご連絡を希望される方は、事務局までお知らせください。

＼お問い合わせ大歓迎！／


こめづくり もりづくり ひとづくり 山村塾　**認定 NPO 法人 山村塾**

〒 834-1222　福岡県八女市黒木町笠原 9836-1

TEL・FAX 0943-42-4300

**Email**：info@sansonjuku.com　**HP** https://sansonjuku.com

**FB**　https://www.facebook.com/sansonjuku

発行者：小森 耕太

編集者：原 愛子


※山村塾は認定 NPO 法人です。山村塾へのご寄付は寄付金控除の対象となります。

最新情報はホームページより

山村塾　検索